島 英 雄

メ少一 はの自 學然 一生に 年時親 中代ん にて ら於强 C 夏、な期誘れ ح

か生てをる ら理考如と 注的へ何 意のねる青 に關ば内年 注係な客少 意からに年 七惑 をらぬ於を 重心むて有 ね掛も生す 八險 てけ 0 活る 月 0 自てて せ父 の最 重ねあし兄 替も しなるひは 中多 な 5 3 休 H 暇伴 自

た濤荒大康塵よるめ餘若も少氣活れ兎恐は分毎でよ凡原を野自な芥くてにり人の年に動ば角ら極の年あシモ は の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 をは自 かかにとの 氣點從事 3 かる疲大ら誘いて候食 のよめな では の で 様れ等る い 然 を開 發 か平あはてのが風み神易 かへだ般 にしし吾むをる此深豫、土、上心たた々し鳴と重入定又や層又 いが眞眞のろし考大りさ一四一は或と踊のの遠宜てへなすれ面國層道は 勇自し不るシる氣祖く自の1迄 たにの ح 祖く自の「迄oは狀惡上易 先戶然でズ氣案暑態化にに なあン附の中がし於種 ! 萬が外 がか里無に をか無休自て の最ずい暇然行 5の人出不 が鼓 舞し波ので もわたはとく

を保しせ旅 を以たた 忘つし頃 れてめの て見た生小の はてて活川間 寧ろを は \$ の質の てはて 百あ心 るは 二遠ゆ 百以 ねるとい な 0 V 長 Z

げら

5

獨

77.

步

自

典

漂

泊